

阪神・淡路大震災 30年：

1995/1/17~2025

大震災は地震対策をどう変えたか？

全国的に注目の集まる大地震からの節目のタイミングに、名古屋大学から独自の見解を示して将来の防災・減災のあり方を議論するため、特別シンポジウムを開催します。

■プログラム

13:30 開会

13:35 「大型実験に基づく建築耐震技術の検証と向上」

長江 拓也（名古屋大学減災連携研究センター准教授）



14:15 「地震調査研究推進本部の功罪」

鷺谷 威（名古屋大学減災連携研究センター教授）



14:55 休憩

15:10 「阪神・淡路大震災から30年間の活断層評価の課題」

鈴木 康弘（名古屋大学減災連携研究センター教授）



15:50 「ボランティアの現状と課題～30年の真価」

栗田 暢之（特定非営利活動法人レスキューストックヤード代表理事）



16:30 総合討論

17:00 閉会



- ◆開催形式：現地とオンライン（zoom ウェビナー）のハイブリッド開催
- ◆参加費：無料
- ◆申込方法：下記 URL または QR コードよりお申し込みください。ご登録いただきましたメールアドレス宛に参加方法をご案内します。
- ◆申込 URL：<https://forms.gle/bFLRfQS5cFo46oUk8>
- ◆申込期限：2025年1月10日（金）9:00AM まで



2025年1月14日（火）

13時30分 - 17時（開場13時）

名古屋大学減災館1階減災ホール・オンライン